

平成28年度 『コーチ育成研修』のご案内

コーチとは

- ・住民対応にあたる職員の育成、また住民に対してリスクコミュニケーション活動を行うなど、地域活動サポートの役割を担う方です。
- ・放射線の健康影響についての知識とともに、コミュニケーション能力が求められます。



研修の目的

本研修では、放射線の基礎知識、測定機器実習、「対話・協働・共考」を取り入れたリスクコミュニケーション等の講義・演習を行います。コーチとして地域で活動するために必要な知識とスキルの習得をめざします。

■対象者

- ・保健医療福祉関係者、教育関係者、自治体関係者等で、職員に支援や助言を行っている方
- ・個人線量計、ホールボディ・カウンタの測定結果を住民に説明している方

■日程・開催地

- 第1回 平成28年 7月6日(水)～ 8日(金)
ビッグパレットふくしま (郡山市)
- 第2回 平成28年 8月24日(水)～26日(金)
郡山商工会議所 (郡山市)
- 第3回 平成28年12月13日(火)～15日(木)
福島県青少年会館 (福島市)

■募集人数

各回20名程度

■プログラム

講義・演習	実習
第1回～第3回（共通） 講義「放射線による健康影響」 講義「環境モニタリングと現存被ばくの考え方」 講義「東京電力福島第一原発事故の概要と回復に向けた取組」 講義「食品中の放射性物質の評価と管理の現状について」 講義「福島県県民健康調査の結果から見てきたこと」 講義「甲状腺検査に関する説明会について」 演習「住民に対する心理学的視点からの支援」 演習「コーチの役割とリスクコミュニケーション」	第1回・第2回 実習「食品及び土壌の放射能測定」 （川内村：川内村コミュニティセンター他） ＊第1回の3日目(7/8)、第2回の2日目(8/25)に実施します。 第3回 実習「ホールボディ・カウンタ(WBC)」 （福島市：福島県労働保健センター） ＊第3回の2日目(12/14)に実施します。

*** 研修は一部のみの受講も可能です。**

<お問い合わせ（事務局）>

平成28年度 原子力災害影響調査等事業 委託業務事務局

公益財団法人原子力安全研究協会 放射線環境影響研究所 担当：太田、伊澤

電 話： 0120-511-157（フリーダイヤル平日10時～17時※土日祝除く）または 03-5470-1994

メール： h28kenshu@nsra.or.jp FAX： 03-5470-1990

■実習の進め方

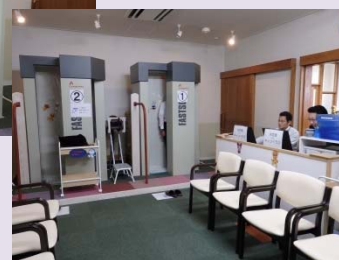
「実習：食品及び土壌の放射能測定」 (

- ・土壌については、実際にサンプリングを行い、ゲルマニウム（Ge）半導体検出器により試料の測定を行います。
- ・食品については、食品放射能簡易検査場にて、NaIシンチレーション検出器の測定結果を解析、考察します。



「実習：ホールボディ・カウンタ」

- ・立体型WBCで計測し、結果の見方を確認します。
- ・「WBC測定結果の説明」の重要性和説明ポイントを学びます。



受講者の声

- ・実務に直結しており参考になった。
- ・リスクコミュニケーションの具体的な手法を学ぶことができた。
- ・心理学的視点もふまえた住民対応ができると思う。
- ・実際のサンプリングや、ゲルマニウム検査を体験する事ができて大変参考になった。
- ・情報提供と共有の違いを考えさせられた。講座や研修のあり方を見直していきたい。

■参加申込み方法

- ・各自治体をととして「開催要項」をお送りいたします。
研修会事務局（原子力安全研究協会）へ直接お申込みいただく形となります。
- ・お申し込みには所属上長の推薦が必要です。
- ・国家公務員旅費規程に基づき、勤務地から研修会場までの旅費、及び宿泊費が支給されます。宿泊は、各自でご手配をお願いします。

■関連情報

・統一的な基礎資料

本研修関連情報では、「放射線による健康影響に関する統一的な基礎資料」の内容についてご紹介します。

この資料は、皆さんの勉強会にもご活用ください。

URL : <http://www.env.go.jp/chemi/rhm/h27kisoshiryo.html>

・放射線による健康影響等に関するポータルサイト

放射線による健康影響等に関する情報等をまとめ、わかりやすくお伝えするポータルサイトです。放射線に関する情報や公的機関から配信される情報を集め、週1回更新しています。

各自治体の取組も紹介しています。

URL: <http://www.env.go.jp/chemi/rhm/portal>

放射線 ポータルサイト

